

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成22年6月3日 (2010.6.3)

【公表番号】特表2009-534214(P2009-534214A)
 【公表日】平成21年9月24日 (2009.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報2009-038
 【出願番号】特願2009-505857(P2009-505857)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/32 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月13日 (2010.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

隣接した層 (L 1) および (L 2) の少なくとも一つの対 (L 1 - L 2) を含む多層構造体であって、

層 (L 1) が、(i) 少なくとも 1 種の半芳香族ポリアミド、および (i i) 少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤 (I 1) を含む、少なくとも 1 種のポリマー組成物 (C 1) を含み、

層 (L 2) が、(i) 少なくとも 1 種の非官能化ポリオレフィン (P O 2) ; および (i i) 少なくとも 1 種の官能化ポリオレフィン (F P O 2) を含む、少なくとも 1 種のポリマー組成物 (C 2) を含む

多層構造体。

【請求項 2】

前記層 (L 1) および (L 2) が単一層であることを特徴とする、請求項 1 に記載の多層構造体。

【請求項 3】

それが中空体またはその一部であり、前記層 (L 1) が前記層 (L 2) よりも内側にあることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の多層構造体。

【請求項 4】

前記半芳香族ポリアミドが P M X D A またはポリフタルアミドであることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の多層構造体。

【請求項 5】

前記耐衝撃性改良剤 (I 1) が、カルボキシル基、それらのエステル、それらの無水物、およびそれらの塩から選択される官能基を含む官能化ポリオレフィン (F P O 1) であることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の多層構造体。

【請求項 6】

前記官能化ポリオレフィン (F P O 1) が、非官能化ポリオレフィン (P O 1') の上に少なくとも 1 種のグラフト剤 (G 1) をグラフトさせることによって得られることを特徴とする、請求項 5 に記載の多層構造体。

【請求項 7】

前記非官能化ポリオレフィン (P O 1') が、エチレンと少なくとも 1 種の - オレフ

インとのコポリマーであることを特徴とする、請求項 6 に記載の多層構造体。

【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の多層構造体を製造するための方法であって、(j) 前記ポリマー組成物 (C 1)、(j j) 前記ポリマー組成物 (C 2) を共押出し成形または共吹込み成形して、隣接した層 (L 1) および (L 2) の対 (L 1 - L 2) を得ることを含む方法。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の多層構造体を含む成形物品であって、それが、パイプ、ホース、管、容器、燃料タンクおよびピンの群から選択される中空体であることを特徴とする、成形物品。

【請求項 10】

前記ポリマー組成物 (C 1) および (C 2) を共押出し成形または共吹込み成形することを含む、請求項 9 記載の成形物品を製造するための方法。